

Looking back on the trip

中野千鶴子

《派遣メンバー選出について》

今年度は、はじめから中学生6名、高校生6名と枠を決め、筆記試験も別に行いました。また少しでも意欲のある人に門戸を広げたいという思いから選抜方法を見直し、昨年度までは筆記試験の合格者だけに
行っていた面接試験を、筆記試験と共に全
員に行う、というやり方に変えました。



自分の思いをアピールする。これは、日本人には不得意な分野かもしれませんが、アメリカでは重要な要素です。しかしアメリカに限らず、いかに自分の情熱を相手に伝えるか、相手を説得するか、ということは仕事でも、社会生活を送る上でもたびたび必要となる大切なことだと思います。

見事合格した生徒達は、皆とても前向きで素直！！

さあ、これからが楽しみです！

《パフォーマンス＆スピーチの準備と練習》

ベルフォンテンで披露するパフォーマンスやスピーチの練習の為に、6月7月の毎週末に全部で計9回集まりました。

生徒達は部活や塾で忙しい中、よく集まって、自発的に取り組んでくれました。

出し物は、生徒達の話し合いで「ももたろう」の紙人形劇と鈴鹿市を紹介するスピーチ、それから英語の歌とラジオ体操をすることになりました。

★ももたろう

たくさんある童話の中から多数決で決定したのは「ももたろう」でした。

まずは、土台づくりからスタートです。

協会職員で絵が得意なハルミの協力を得て、生徒達が積極的に作成に取り組みました。台本は、慎さんが学校から英語版のももたろうの本を持ってきてくれました！

英訳しなくて済んだ！！Thank you！慎さん！

* 背景画の作成



* キャラクター 作成



おしゃべりをしながら色塗りをして、徐々に仲良くなっていましたネ。
色使いもなかなか上手でした。

* 台本との読み合わせ



* 台本に動きを合わせます



役割分担をして台本を英語で読みます。台本を読む練習のために、オハイオから来ている鈴鹿市教育委員会のSEFの皆さんが、事前に英語でももたろうの台本やスピーチの原稿を読んでくれました。それを録音したCDを何度も聞いて、発音の練習をしました。

To SEF members: Thank you for cooperation of all of you. The students could give good performance & speeches in Bellefontaine. Thanks to you!



* 最後は随分息が合ってきましたネ！

★鈴鹿を紹介するスピーチ

鈴鹿の紹介では、鈴鹿の偉人 大黒屋光太夫と前川定五郎を、特産物は、鈴鹿墨と伊勢茶、煮干を、また観光スポットとして鈴鹿サーキットを紹介しました。

担当になった生徒は、それぞれ、自分なりに調べて原稿をつくりました。そして頑張って英訳もしましたネ！また最終的に出来上がった原稿を読むのも大変でした。声が小さかったり、発音が難しかったり、何度も注意されながら、めげずに頑張りました。

★ラジオ体操

蒔ちゃんの発案でラジオ体操をすることになりました。

日本の夏休みの朝のラジオ体操は、ひとつの文化です。これを紹介し、ホストのみなさんにも参加してもらって全員で一緒にラジオ体操をすることになりました。



★合唱～カントリーロード～ベルフォンテンヴァージョン～

やはり最後は歌で締める、ということで今年はカントリーロードを歌うことにしました。

ただ、これは本来ウエストヴァージニアの歌の内容なので、歌詞をベルフォンテンヴァージョンに変えて歌うことにしました。もちろん英語です。

ふたつのパートに分かれて歌うことにしました。男子はすぐつられてしまうので大変でした。また、歌いながら軽く体を動かしてリズムも取りました。サビの部分では手拍子も入れます。その方が見えていても、歌ってる方も楽しいもんね。

高田中学の春川先生に指導に来ていただきました。ありがとうございました。



《出発式》7月30日(水)

さていよいよ出発の日。鈴鹿市長の前で、一人ずつ意気込みを発表し、最後に文香ちゃんが代表挨拶をしました。



《7月30日(水)ジョージア州アトランタ》

約12時間の飛行後、デトロイトで国内線に乗り換え、午後4時ようやくアトランタに着きました。まだ日本を発った同じ日の30日(水)です。機内で眠れなかった子は、かなり眠くて疲れていましたが、そのままワールド・オブ・コカ・コーラへ。



ゴミ箱



歴代のポップなデザインの看板



エントランスで記念写真

ここには、古今東西のコカコーラグッズや歴代の看板がこれでもか！と言うほど展示されていて圧巻でした！日本の加山雄三の看板もありましたヨ。

また、世界のコカ・コーラ製品を試飲できるコーナーもありました。

やはり、アジア圏のものが一番口に合いました。

コカ・コーラ社の宣伝力には目を見張るものがあります。

アトランタは、コカ・コーラ社と共に成長・発展してきたようです。



夕飯はホテルから徒歩15分のスペアリブのレストランへ。ボリュームたっぷりで頑張って食べても残ってしまいました。

《7月31日(木)アトランタ→ベルフォンテン》



翌朝のホテルの朝食もボリューム満点でした。ホットケーキ、ベーグル、マフィン、スクランブルドエッグ、ソーセージ、ベーコン、オレンジジュース・・・典型的なアメリカンブレイクファーストですが、これがまた本当に美味しいんです！でも、コーヒーだけはいただけません。(個人的な意見ですが・・・)アメリカンだけにとっても薄いんです。私は、スターバックスコーヒーで、オリエンタルテイストというのを選んで飲んでいました。ホテルの従業員さんの南部なまりの英語は、聞き取るのが大変難しく、苦労しました。



ホテルをチェックアウト後は、CNN のスタジオ見学ツアーに行きました。

CNN と言えば、24時間ニュースを放送している局で、1991年の湾岸戦争の時、戦時下のイラク国内からライブ映像を世界に配信したことで、注目を集めました。

ツアーの内容は世界一長いといわれるエスカレーターで、一気に8階まで上がり、舞台裏を見て回ります。

生徒達が特に反応していたポイントが、キャスターが何故カメラ目線でニュース原稿がよめるのか？の仕組み。それは、プロンプターというシステムを使用しているからだそうです。プロンプターシステムというのは、キャスターの読む原稿がカメラの前にあるハーフミラーに映し出され、キャスターは、カメラを見つめているようで、実は原稿を読んでいる、という仕組みなんだそうです。

現場では実際に生放送されているスタジオも見学でき、貴重な体験となりました。

また、天気予報でよく使われるシステムで、人物と天気図の画像を合成するクロマキーシステムを実際に体験できるデモンストレーションがあり、とても興味深かったです。



次は、いよいよキング牧師の記念館です。

マーティン・ルーサー・キング・ジュニア。今回ベルフォンテンに入る前の訪問先にアトランタを選んだ主な目的は、彼の記念館があることでした。

昨年のベルフォンテン訪問メンバーが、デトロイトのフォードミュージアムで、ローザパークスのバスや KKK の衣装などを見て、当時の話を聞き、少なからずショックを受けたのを受けて、今年はキング牧師の記念館のあるアトランタに注目したのです。生徒達には、パフォーマンスの練習で集まった時など折に触れ、その話をしました。



人権について考えることは、在住外国人が1万人を越え、20人にひとりが外国人という鈴鹿市に住む私達にとっても、とても大切なことです。

生徒達には、この機会に、過去の歴史や人権について様々な角度から心で感じ、考えて欲しいと思っていたところ、萌里ちゃんが事前に勉強し、キング牧師について調べてきてくれました。せっかくなので、記念館を訪ねるバスの中で調べてきたことを発表してもらいました。

ここで学んだことを、彼らがさらに、広げていってくれるといいなと思います。

＊キング牧師の有名なスピーチ＊

I say to you today, my friends so even though we face the difficulties of today and tomorrow, I still have a dream. It is a dream deeply rooted in the American Dream.

I have a dream that one day this nation will rise up and live out the true meaning of it's creed, "We hold these truths to be self-evident, that all men are created equal".

I have a dream that one day on the red hills of Georgia, the sons of former slaves and the sons of former slave owners will be able to sit down together at table of the brotherhood.....

I have a dream that my four little children will one day live in a nation where they will not judged by the color of there skin but the content of their character.

I have a dream today.



今日、私は申し上げます。今日、明日、我々は様々な困難に直面しているが、それでも尚、わたしには夢がある。それはアメリカンドリームに深く根ざした、ひとつの夢なのです。

私には夢がある。いつの日かこの国が立ち上がり、「万人は生まれながらにして平等である。これが自明の理である。」という信条の真の意味をまっとうするという夢が。

私には夢がある。いつの日か、ジョージア州の赤土の丘の上で、かつての奴隷の子供たちとかつての奴隷主の子供たちとが、共に友愛のテーブルに着く日が来るという夢が。.....

私には夢がある。いつの日か、私の幼い四人の子供たちが、彼らの肌の色でなく、彼らの人格の中身で判断される、そんな国に住む日が来るという夢が。私には夢がある。



記念館のフロントにキング牧師と彼の奥さんのコレッタさんのお墓があります。コレッタさんは、1968年にキング牧師が暗殺された後も、彼の遺志を受け継ぎ、積極的に活動されました。2006年(ほんの数年前に・・)に亡くなり、現在彼女のお墓は、彼女の願いでキング牧師の隣に一緒に並んであります。

キング牧師夫妻のお墓

★ベルフォンテンにてホームステイ★

アトランタからメンフィス→コロンバスと乗り継いで、夕方、いよいよベルフォンテンに入ります。IFC(インターナショナル フレンドシップ センター)のオフィスの前に、たくさんのホストの皆さんが待っていてくれて、私達を温かく出迎えてくれました。私が一番にバスを降りて、IFC のスタッフ達と再会のハグと挨拶をしているうちに、ホストの皆さんはどんどん生徒を見つけて、すでにあちらこちらで Nice to meet you!の挨拶が始まっていました。そんな中、私は地元のラジオ局の取材があり、リポーターの質問に答えねばならず、そうこうしているうちに生徒たちはあっという間にホストの車に乗せられて行ってしまいました。Good Luck!

さて、私のホストは今年も Vicki さん。聡明で親切で誠実な、とても頼りがいのある素敵な女性です。積もる話をしていたらあっという間に夜の10時を過ぎて、慌てて翌日の市内訪問の準備にとりかかりました。



事前に送ってあった、各施設へのお土産を袋別にまとめるのですが、肝心のベルフォンテン市長へのプレゼントの時計がダンボールの中から消えていて、大ショック!!

検閲の為に開けられたような様子はなかったのに Why??? かなり焦りました。結局昨年から取り置きしてあった浴衣などで代用し、急場を凌ぐことにしました。ベッドに入ったのは AM2時。長〜い一日が終わりました。

《8月1日(金)市内各施設訪問》

★ベルフォンテン市長表敬訪問★

ベルフォンテン市庁舎では、今年就任したばかりの若干22歳の新市長アダム・ブランナンさんを表敬訪問。

生徒は元気よく自己紹介をし、鈴鹿市長からのお手紙とプレゼントを渡しました。ベルフォンテン市長が若いせいか、最初からわりと打ち解けて、お話ができました。



鈴鹿市長からの手紙を渡す仙石君



お土産を渡すこみさん



お土産を渡す香菜ちゃん

市長と共に記念写真





最後にカントリーロードの替え歌、ベルフォンテンヴァージョンを躍り付きで歌いました。

★消防署★

昨年大人気だったマッチョな消防士さんに再会。今年も相変わらず女子達に人気でした。でも既婚者です。

毎年恒例の試着体験は、ジャンケンに勝った慎さんが着ることになりました。とっても重たいそうです。暑いし、重いし・・・大変なお仕事です。頭が下がりますネ。



★リトルラーナーズ クリスチャン デイケアセンター★

保育所では、今年もかわいいおちびちゃん達が、私達を出迎えてくれました。



生徒たちもみんな笑顔です。さて、いよいよ日本でかなり時間をさいて練習をしてきた「ももたろう」の発表です。小さな子ども達はじっと生徒達の人形劇に聞き入り、楽しんでくれました。生徒達がつくった紙人形劇のセット一式は、台本と共に、この保育園に寄贈してきました。

その後は、ジェスチャーゲームをしました。この時が一番、生徒達が生き生きと輝いていたように思います。



小さな子ども達もジェスチャーを見て、よく当ててくれました。言葉が通じなくても、必死に伝えようとすれば、通じるんだ！ということを実感！大変盛り上がりました。

文香ちゃんも頑張りました！→
←のりのり明穂ちゃん



協会ボランティアの本堂多喜子さんから寄贈していただいた、かわいい日本人形の飾りをプレゼントしました。

とても喜んでくれました。

恒例のカブト作り。生徒達が子ども達に混じって、一緒に作りました。



そして最後はやはりカントリーロード・ベルフォンテンヴァージョン。とても上手でした！
★ローガン郡の教育長＆全学校の校長先生とのミーティング★



今回は教育長だけではなく、全ての学校の校長先生たちも集まっている所にお邪魔したので、大勢の前で発表をすることになりました。生徒達もかなり緊張していました。発表の内容は、鈴鹿の紹介です。鈴鹿の偉人、大黒屋光太夫と前川定五郎、特産物は、鈴鹿墨と伊勢茶、煮干を、また観光スポットとして鈴鹿サーキットを紹介しました。

★マリーズキャンディ&ベルテック★

恒例のチョコレートショップ。ここで買い物をしている時に、地元ラジオ放送局の取材が入りました。そこで是非カントリーロード・ベルフォンテンヴァージョンを歌って欲しいと依頼され、狭いスペースの中、オーナーを囲み、歌うことになりました。

替え歌の歌詞の中には、“マリーズチョコレート”というフレーズも出てきます。気の利いた生徒たちは、特にその所を強調して歌いました。するとみるみるオーナーの目には涙が溜まり、その様子を見て今度は私がもらい泣きをする、という少々センチメンタルなメモリーとなりました。

こうして訪れる場所ごとに歌を歌っていた私達は、最後の訪問先のベルテックでは全員とても疲れてしまい、ベンチに腰掛けて居眠りをする子さえ・・・

へとへとでしたが、やはりここでも歌を披露しました。

こうして、市内各地に友好の歌声を響かせて、長い一日が終わりました。

《8月2日(土)～3日(日)ホームステイ&フェアウェルパーティ》

市内各施設訪問も無事終え、今日からは完全に各ファミリーと過ごす2日間になります。生徒達からのSOSの瓦が入らぬよう、祈りつつ・・・私もホストのVickiと行動を共にしながら、色々な話をしました。昨年は、特に観光らしい観光をしなかったのですが、今年はベルフォントンの観光をしよう！とVickiさんに「カントリーロード・ベルフォントンヴァージョン」に出てくる場所に行きたい、と告げました。



これは、ファーストコンクリートストリートの記念像です。この隣にある裁判所付近にあったメインロードに沿って1891年にアメリカで初めてコンクリートの道路が出来ました。初めはわずか8フィート(2m44cm)だったそうです。それが2年後8マイル(12.8km)となったそうです。ベルフォントンの観光スポットのひとつです。

ここで、慎さんの家族とバツタリ会いました！→

この日は添乗員の中根恵子さんと彼女のホストのパットさんと一緒に4人で過ごすことになりました。議員だったパットさんのご主人は、かつてベルフォントンで道に迷っている日本人の老婦人を見て、在住の外国人を助ける施設を作らなければならない、と思い今のIFCの前身を立ち上げられたそうです。



(左からKeiko、Vicki、Pat、Chico)
モルモンヴァリーファームにて



ローガンカウンティミュージアム

中根さんとパットさんと別れた後は、コニーさんの家に行きました。まずはインディアンレイクにヨットで出ます。



コニーの旦那さんと兄夫妻と一緒にです。
もちろんVickiも。



そしてかわいい
わんちゃんも

夕日がと一ってもきれいでした。
感激！
夜はコニーの自宅でバーベキューパーティでした。
他にもお友達がみえて、楽しい夜となりました。



ベルフォンテンで初体験！！
“コーンホール”というゲームをしました。

上の写真のとおり、穴が一箇所空いているだけのシンプルなボードに、ビーンズバッグ(↓の黄色い袋)を7メートル程離れた所から投げます。
シングルでもダブルスでもプレイできます。下の右の写真のように、穴に入らずボードにのったら1ポイント。穴に入ったら3ポイント。というように計算していき、21ポイントになったら勝ちになります。シングルでやる場合は、相手のビーンズバッグにわざと当ててボードから落とすなど、テクニックを使い競います。



ピッチャーズボックスがあり、ボードの横に立って投げるそうです。
とても簡単なゲームですが、とても面白く、夢中になって遊びました。
みんなさすがにとっても上手で、何度も穴にうまく入れていました。
私はなかなか入りませんでした。でも、とても楽しかったです。



翌日は、Vickiさんの家で、IFCの英語講座に来ていた日本人の家族が、日本に戻ることにあったので、フェアウェルパーティがありました。

Vickiさんが素敵なお馳走をたくさん用意してくれました。
美味しかったです！



さて、その日の晚はいよいよホストと生徒たちのフェアウェルパーティです。
シニアセンターで生徒達を待っていると、みんなとっても楽しそうに、すっかり家族の一員となって会場に入って来ました！会場に到着した順に家族で写真を撮りました！



みんな素敵なホストに恵まれてよかったネ！
ピザを食べた後、いよいよ発表の総仕上げです。
鈴鹿の紹介スピーチ、ももたろうの紙芝居、ラジオ体操、カントリーロード ベルフォン
テン バージョンの合唱です。



何度も何度も練習してきたももたろう。手作りの汗の結晶です。



ラジオ体操は、多くの日本の子供達が、夏休みの早朝に地域で集まり、参加してスタンプを押してもらうことなどを説明すると、ホストの皆さんはとても興味深そうに話を聞き、その後、音楽に合わせて積極的にラジオ体操と一緒に体験していました。

ベルフォンテンで何度も歌ったカントリーロードもいよいよ最後です。



あちらでもこちらでもリクエストされて歌った「カントリーロード」。この曲は、2008年メンバーの思い出の曲となりましたね。振り付きでしたが、生徒は恥ずかしがらずによく出来ました！

《8月4日(月)ベルフォンテン出発》
とうとう別れの朝です。



みーんな涙!涙!涙！彼らを引き離してバスに乗せるのは酷でした。
バスに乗っても、女の子達は嗚咽状態！



でもしばらくしたら、この笑顔！



《8月5日(火)帰国》



《8月8日(金)川岸市長に帰国報告会》



この旅の感想をひとりずつ市長に報告する時、生徒達が全員、あまりに情熱的に、丁寧に、沢山、語るのので、驚きました。こちらの予想を超える時間がかかったため、市長のスケジュールを気にする市の職員さんが焦っていました(笑)

それ程、彼らにとって、この体験が素晴らしかったのだと思い、嬉しくなりました。

最後はやはり記念写真！

みんなで撮る最後の集合写真です。

お疲れ様でした！

We don't know how to express our feelings of appreciation.

Thank you for giving us some splendid memories!

